

天皇陛下御即位二十年を お祝いする国民祭典

実施企画概要〈案〉

1、実施概要案

(1)日 時 平成21年11月12日(木曜日) 14:30~19:00

①第1部「奉祝まつり」

○時刻：14時30分～16時30分

○会場：内堀通り及び皇居外苑

②第2部「祝賀式典」

○時刻：17時～19時

○会場：二重橋前特設会場及び皇居前広場

(2)参加者 約3万名(各界御来賓、奉祝国会議員連盟、奉祝委員会、
一般ご招待者)

※第2部奉祝式典は皇居前広場に3万名のイス席用意

(3)主 催 天皇陛下御即位二十年奉祝国会議員連盟(森喜郎会長)
天皇陛下御即位二十年奉祝委員会(岡村正会長)

(4)後 援 内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、国土交通省、
経済産業省、法務省、防衛省、東京都(以上決定)
※文部科学省、財務省、農林水産省、環境省は申請中

2、行事企画案

「第1部・奉祝まつり」(14:30~16:30)

〔1〕祝賀パレード《内堀通り》

(1)出発セレモニー

- ①主催者代表挨拶
- ②出発式ファンファーレ

(2)音楽隊パレード

- ①警視庁音楽隊・カラーガード
- ②東京消防庁・カラーガーズ隊
- ③全日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟

(3)郷土芸能パレード

- ①江刺鹿踊り（岩手県）
- ②しばた台輪（新潟県）
- ③館林八木節（群馬県）
- ④足利八木節（栃木県）
- ⑤東金囃子（千葉県）
- ⑥正調阿波踊り（東京都）
- ⑦佐渡おけさ（東京都）
- ⑧御諏訪太鼓（長野県）
- ⑨刈谷万燈祭（愛知県）
- ⑩郡上おどり（岐阜県）
- ⑪飛騨高山まつり（岐阜県）
- ⑫母ヶ浦面浮立（佐賀県）

〔2〕都内主要神社による神輿渡御《皇居外苑》

〔3〕郷土物産展《皇居外苑》

全国の都道府県より観光や名産品を紹介する展示ブースを設置

「第2部・祝賀式典」

(皇居前広場 17:00～19:00)

〔1〕プログラムの流れ

○オープニング記念演奏（太鼓演奏） ほか

〔司会〕 宮本隆治（元NHK）、久保純子（元NHK）

17:00	開会宣言	
17:02	各界代表からの祝辞①	
17:30	両陛下にゆかりある奉祝演奏	
17:45	各界代表からの祝辞②	
18:10	両陛下にゆかりある奉祝演奏	
18:30	天皇皇后両陛下のお出まし（二重橋）	} 両陛下 ご臨席 (予定)
18:32	内閣総理大臣祝辞	
18:36	御即位20年奉祝歌の演奏奉呈	
18:51	国歌斉唱	
18:53	天皇陛下のお言葉	
18:57	万歳三唱	
	天皇皇后両陛下ご退出	
19:00	閉会宣言	

※天皇皇后両陛下のご臨席は宮内庁に申請中です

(プログラムの時間は、大よその目安を示したものです)

〔2〕各界代表の祝辞（敬称略）

(1)天皇陛下ゆかりの方々

- ①松山 優治（東京海洋大学学長、本年度豊かな海づくり大会会場）
- ②平野 祐康（三宅村村長、火山被害地）

(2)学問・芸術分野でこの二十年間に活躍されたの方々

- ①小柴 昌俊（ノーベル賞受賞者）
- ②星出 彰彦（宇宙飛行士）
- ③森 光子（女優）

(3)スポーツを通してこの20年間に国民に感動を与えたの方々

- ①原 辰徳（WBC日本代表監督）
- ②荒川 静香（トリノ五輪金メダリスト）

※以上の方々が決定。さらに経済界代表、災害地代表、スポーツ界代表、海外有識者代表などの方々へ交渉中

〔3〕両陛下にゆかりある奉祝演奏

自衛隊音楽隊による天皇陛下ゆかりの音楽演奏、子供達の演舞、著名音楽家による記念演奏などを企画中

〔4〕御即位20年奉祝歌の演奏

作詞・秋元康 作曲・岩代太郎 歌唱・EXILE（決定）

※以上の奉祝式典企画については記者発表まで非公開に願います。

3、ご来賓と招待者について

〔1〕 各界来賓席…… 約2000名

内閣総理大臣、政府閣僚、地方公共団体代表、都道府県議会代表、
奉祝国会議員連盟役員・加盟議員、奉祝委員会役員 など

〔2〕 ご招待者席…… 約2万5000名

①奉祝委員会に所属する各団体からのご招待者

②マスコミ、ホームページ等を通じた一般公募者

※その他、祝賀パレード団体の参加者を含めて約3万名を予定

4、当日までのスケジュールについて

9月29日	第2回合同役員会
10月1日	奉祝委員会公式ホームページ開設 国民祭典への一般公募受付開始
10月10日前後	記者発表（国民祭典企画内容公表）
10月中旬まで	各界来賓、奉祝国会議員連盟、奉祝委員会、等へ のご招待状送付
10月23日	一般公募締め切り（案）
11月上旬	一般公募者ご招待券発送
11月10日	皇居前広場会場設営（～12日）
11月12日	国民祭典当日

以上

天皇陛下御即位20年奉祝国民祭典 奉祝祭演技（案）

（1）出演団体

- ① 警視庁音楽隊・カラーガード
- ② 東京消防庁音楽隊・カラーガーズ隊
- ③ 全日本鼓笛バンド・フォームバトン連盟
- ④ 鹿踊り
- ⑤ 足利八木節
- ⑥ 館林八木節
- ⑦ しばた台輪
- ⑧ 御諏訪太鼓
- ⑨ 東金ばやし
- ⑩ 東京のお祭り
- ⑪ 正調阿波踊り
- ⑫ 佐渡おけさ
- ⑬ 刈谷万燈祭
- ⑭ 郡上おどり
- ⑮ 飛騨高山まつり
- ⑯ 母ヶ浦面浮立

（2）演技場所と時間について

1) ⑩東京のお祭り以外の団体

(14:30～16:30)の時間帯で、内堀通り570メートルの区間を行進、停止しながら約30分弱ずつの演技を行っていただく。

2) ⑩東京のお祭り

(14:30～16:30)の時間帯で、他の団体とは別の場所で2時間連続で演技を行っていただく。

演技場所については、以下の2案がある（地図ご参照）。

A案)

東京都道406号皇居前鍛冶橋線の馬場先門交差点以東の区域(20m×260m)。ここは御即位10年の際と同じ演技場所だが、前回の約2倍の広さを準備。

B案)

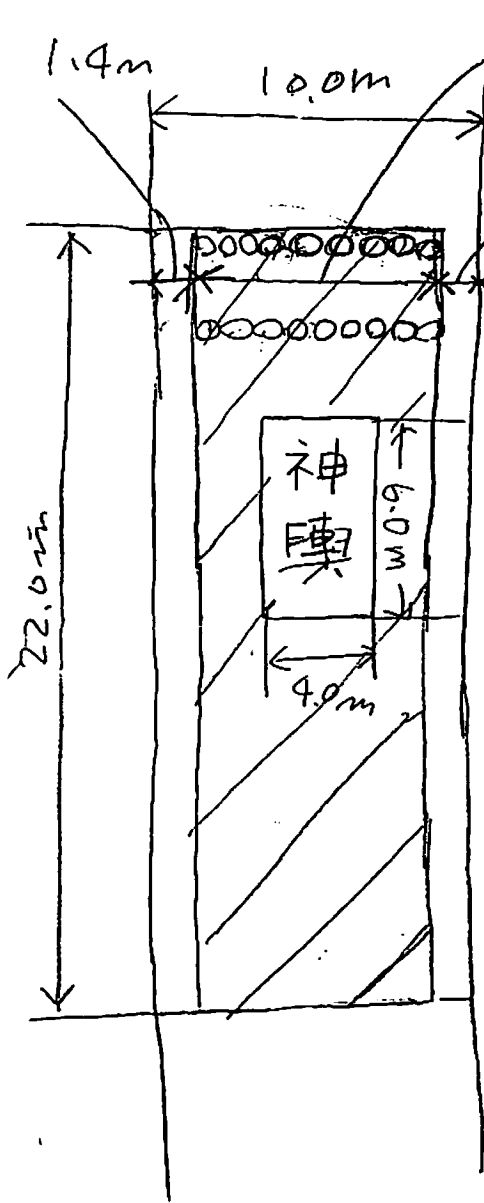
東京都道404号皇居前東京停車場線(行幸通り)の和田倉門交差点以西の区域(22m×230m)。この道路は普段は閉鎖されていて、外国大使と天皇陛下のみが使用できる区域。

※神輿の数は、A案で12基と試算。1基につき担ぎ手が200名。それぞれの挺団の間隔を15mとした場合（別紙ご参照）。

別紙

1つの神樂の占有する広さの概算

1班団を200名と仮定
可る。



○ 相対手1人当りの
占有する面積は

$$0.8m \times 1.0m = 0.8m^2$$

○ 神樂1基の
占有する面積は

$$6.0m \times 4.0m = 24.0m^2$$

と仮定すると

○ 1つの班団の
占有する面積は

$$0.8m^2 \times 200人 + 24.0m^2$$

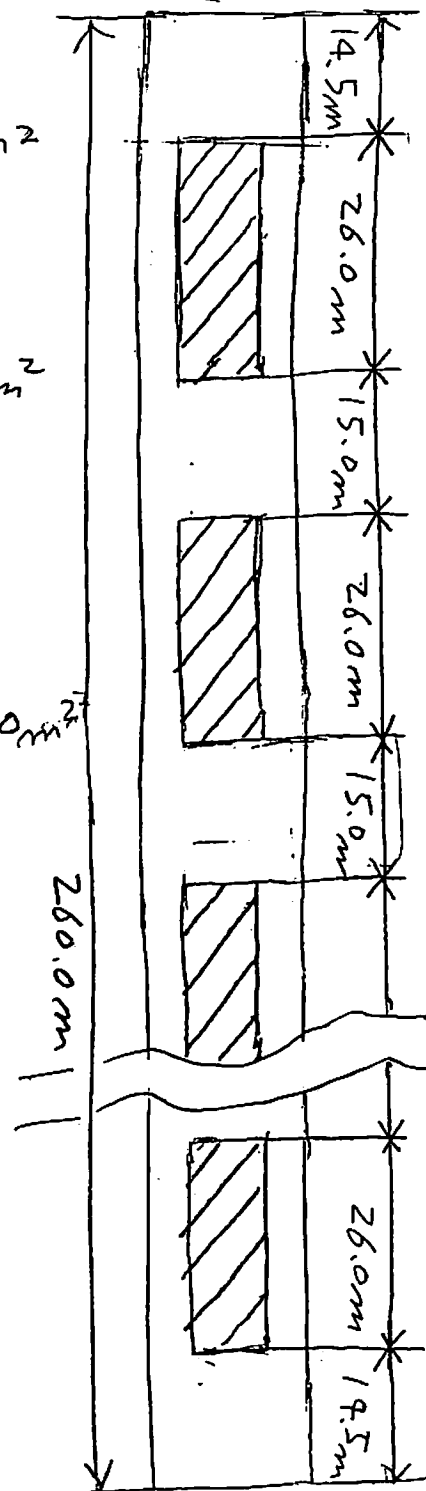
$$= 7.2m \times 26.0m$$

6基を片側に

置いた。

両側車線に

合計12基。



御即位10年の際の演技場所

天皇陛下御即位十年をお祝いする国民祭典

第1部 祝賀パレード

騎馬隊、音楽隊、郷土芸能、お祭り広場

■お祭り広場での配置・展開について1

皇居前広場側

